

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	03009-1	地域団体支援事業(社会福祉協議会)	室名	地域福祉室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計 一般会計
	基本施策	03:地域福祉力の向上	務	款 民生費
	施策の方向	02:安心して福祉サービスを利用できる環境づくり	科	項 社会福祉費
戦略プロジェクト		目	目 社会福祉総務費	

②目的・概要	対象	亀山市社会福祉協議会(社会福祉団体、地域の高齢者、障がい者、子育て中の親子など)
	目的	亀山市社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された地域福祉を推進することを目的とする団体で、社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助などを実施している。社会福祉協議会による様々な地域福祉活動と連携を図り、きめ細かな地域福祉を進めていく。
概要	亀山市社会福祉協議会への補助金交付基準に基づき補助金を交付する。 ①法人運営事業 ②地域福祉ボランティア事業 ③日常生活自立支援事業 ④社会福祉センター管理事業	

		27年度	28年度
①	名称	亀山市社会福祉センター改修工事	
	補足	単年度事業	
②	名称	亀山市社会福祉センターの利用件数	
	補足		177 件
③	名称	亀山市社会福祉センターの利用者数	
	補足		4,767 人
④	名称		
	補足		

27年度計画				27年度実績				
④事業の計画・実績				亀山市地域福祉計画及び亀山市地域福祉活動計画について、亀山市地域福祉計画推進委員会を開催した。 あいあい祭り2015をボランティア関係団体を中心とした実行委員会を設置し、行政・社協が共催して実施した。 第11回亀山市社会福祉大会を開催した。(約250名参加) 亀山市社会福祉センターの男女トイレ(和式から洋式)、障がい者のトイレの改修をはじめ、集会室の照明設備や壁クロス貼替、ドア改修、事務室等の網戸取付、カーテン吊替、玄関前タイル貼替工事の経費の1/2を補助。(貸館の停止10月~3月)				
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	758	平均給与額×③
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	758		
	県支出金				所要人員 ③	0.10		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他				受益者負担率 ⑤	0		
	一般財源		68,502	64,776	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	758			
	総コスト		⑥	65,534				

⑤事業の評価	【事業の成果】	亀山市地域福祉計画及び亀山市地域福祉活動計画の進捗管理や評価のため推進委員会で協議した。また、次期計画に向け市職員と社会福祉協議会職員を対象に外部講師を招いた研修会を開催し、共通の認識を持つことができた。あいあい祭りでは部会制をとり、各種関係団体の実行委員が企画段階から参画して実施し、市内外から多数の参加者があった。関係団体の情報交換の場として、また参加者が健康・福祉に関心を持っていただけのイベントとなった。亀山市社会福祉センター改修工事により、高齢者や障がい者を中心とする利用者の利便性を向上することができた。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	平成28年度が亀山市地域福祉計画及び亀山市地域福祉活動計画の最終年度となることから、施策の進捗状況や問題点を整理し、次期計画づくりに向け取り組んでいく。 あいあい祭りは、参加団体が固定化されてきているため、新規の参加団体を募る必要がある。 亀山市社会福祉センターは、施設の老朽化が進んでおり施設の長寿命化を図るため、改修に必要な費用を補助金として交付する。	
	【改善の方向性】	亀山市地域福祉計画及び亀山市地域福祉活動計画の策定において、市民アンケートや地域・福祉団体へのヒアリング等については、行政・社協の役割分担をし、進捗状況を確認し情報を交換していく。 あいあい祭りは、市広報や窓口等で周知を図り、新規のボランティア団体等の参加を募っていく。 亀山市社会福祉協議会に対し、補助金交付基準に基づき、適切な財政支援を実施する。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 地域福祉室長 水谷 和久